

# ぐんま の 農業研究と普及活動

第 22 号

平成 25 年 7 月

発行 群馬県農政部

(前橋市大手町一丁目 1 番 1 号)

## スモモの新しい栽培法！ スモモのジョイント栽培



県農業技術センターでは、神奈川県が開発したナシのジョイント栽培の「樹と樹をつなげる」発想を活かした技術を応用し、スモモのジョイント栽培の研究を行いました。この栽培法は、優良な側枝が確保できるため早期多収が可能です。また、側枝を一定方向に配置するため樹形が直線的となり、人工受粉やせん定等の管理作業を省力化できる新しい栽培法です。

### 目 次

- トピック [新技術等の迅速な現地普及]
  - 県育成ブルーベリー品種を導入した産地化  
～生産拡大等による産地強化への取り組み支援～…………… 1
- 研究成果等の情報
  - [県の試験場で開発した最新の技術情報]
    - ・早期多収で省力化が図れる  
スモモの樹体ジョイント仕立て栽培…………… 3
    - ・県育成品種等を利用したブルーベリー酢の製造…………… 4
    - ・土壌中の放射性物質に関するモニタリング定点調査…………… 5
    - ・細繊維蚕品種「N7NONF×ニ」の蚕期別飼育方法…………… 6
    - ・アユの低水温と濁水に対する反応…………… 7
    - ・不耕起播種機を活用した飼料作物の低コスト生産…………… 8
  - ・飼料生産ほ場におけるイノシシ防除対策…………… 9
- 普及活動の実績
  - [各地域における課題解決の取り組み]
    - ・農業青年活動支援による担い手育成…………… 10
    - ・放射性物質に対する安全性確保の取り組み…………… 11
    - ・切り花リンドウの産地育成…………… 12
    - ・飼料イネ専用収穫機の実演会開催について…………… 13
    - ・赤色防虫ネットによる果菜類の微小害虫対策…………… 14
- インフォメーション
  - ・「次世代に伝える ぐんまの農産加工」発行しました…………… 15